



シスコ レシーバの packets 開始

- [レシーバの packets 検出開始しきい値について \(1 ページ\)](#)
- [Rx SOP の制約事項 \(1 ページ\)](#)
- [Rx SOP の設定 \(CLI\) \(2 ページ\)](#)

レシーバの packets 検出開始しきい値について

レシーバの packets 検出開始 (Rx SOP) しきい値機能は、アクセス ポイントの無線が packets を復調してデコードする dBm 単位の Wi-Fi 信号レベルを決定します。Wi-Fi レベルが上がる と、無線の受信感度が下がり、レシーバのセル サイズが小さくなります。セル サイズの減少 は、ネットワークのクライアントの分散に影響します。

RF リンクが脆弱なクライアント、つながりばなしのクライアント、およびアクセス ポイント 全体で負荷分散しているクライアントに対処するために Rx SOP が使用されます。Rx SOP は、 アクセス ポイントが最も近くにある最も強力なクライアントを最適化する必要のあるスタジア ムやホールなどの高密度展開でネットワーク性能を最大限引き出すのに役立ちます。

Rx SOP の制約事項

RxSOP 設定は Cisco Aironet 3600 シリーズ AP でプラグ着脱可能なサードパーティの無線モ ジュールには適用できません。

次の表に、Rx SOP しきい値で許容される範囲を示します。

表 1: Rx SOP しきい値

無線帯域	しきい値高	しきい値中	しきい値低
2.4 GHz	-79 dBm	-82 dBm	-85 dBm
5 GHz	-76 dBm	-78 dBm	-80 dBm

Rx SOP の設定 (CLI)

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例 : Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	ap dot11 {24ghz 5ghz} rx-sop threshold {auto high low medium} 例 : Device(config)# ap dot11 5ghz rx-sop threshold high	802.11a 無線 Rx SOP しきい値を設定します。
ステップ 3	end	特権 EXEC モードに戻ります。
ステップ 4	show ap dot11 {24ghz 5ghz} high-density 例 : Device# show ap dot11 5ghz high-density	802.11ac 高密度パラメータを表示します。
ステップ 5	show ap summary 例 : Device# show ap summary	接続されたすべての Cisco AP のサマリーを表示します。